

基本的欲求の充足した状態	S 情報	O 情報	充足・未充足	アセスメント	看護上の問題点
<p>1. 正常に呼吸する</p> <p>1) ガス交換が正常に行われている</p> <p>2) 安楽に呼吸が出来る</p>	<p><u>発症時</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右胸部痛</li> <li>・ 咳嗽</li> <li>・ 呼吸困難</li> </ul> <p><u>安静時</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 胸痛・呼吸困難なし</li> </ul>	<p><u>病院到着時</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ BP=102/60mmHg</li> <li>・ P=98/分</li> <li>・ R=26/分</li> <li>・ SaO<sub>2</sub>=94%</li> </ul> <p>胸部 X 線検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 右上葉の気腫性嚢胞破裂による右気胸</li> <li>・ 中等度の虚脱 (35%)</li> </ul> <p>胸腔ドレナージ (右第 6 肋間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 16F トロッカーカテーテル</li> <li>・ -5cmH<sub>2</sub>O</li> <li>・ 透明な淡黄色の排液 10ml</li> </ul> <p>皮下気腫なし</p> <p>AirLeek は会話時や咳嗽時にあり</p> <p><u>入院 3 日目</u></p> <p>胸部 X 線検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虚脱率 15%</li> </ul> <p>胸腔ドレナージ</p>	未充足	<p>A さんは 20 歳の成人男性であり、健康であれば呼吸は普通の動作時、息切れはなく、また、12~20/分程度である。しかし、A さんは気胸により入院時呼吸数は 26/分と頻呼吸である。また、動作時の呼吸困難を訴えており、呼吸は未充足状態にある。</p> <p>この原因は気胸による肺虚脱からくる換気障害が考えられ、そのために動作時の呼吸困難を生じている。肺虚脱率は、入院時 35%、胸腔ドレナージをすることで入院 3 日目 15%と改善傾向にあるが、持続吸引は継続されている。</p> <p>以上のことから、呼吸数の増加、動作時の呼吸困難の未充足の原因は生体の換気障害という体力の不足である。</p> <p>呼吸機能の改善のためには、破綻部が癒着し、虚脱していた肺が再膨張するまでは安静度に従って体動を制限することで安楽な呼吸を図り呼吸機能の改善を促すよ</p>	<p>井</p> <p>肺虚脱による換気障害に関連したガス交換障害</p> <p>S: 呼吸数 26/分</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ -3cmH<sub>2</sub>O</li> </ul> 安静度：病棟内歩行可 AirLeek は会話時や咳嗽時に間欠的に認める 呼吸性移動良好		う援助する必要がある。	
2. 適切に飲食する  1) 必要な栄養がとれている  2) 楽しく食べられ満足感がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストレス、不安：有</li> </ul> 「いつごろ退院できるだろう」「会社に迷惑をかける」「職場復帰できるだろうか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身長： 185cm</li> <li>・ 体重： 62 kg</li> <li>・ BMI： 16.7</li> <li>・ 基礎代謝：1434.7kcal (20歳男平均 1550kcal)</li> <li>・ 食事形態：普通食</li> <li>・ 食欲：不振→3日目より全量</li> <li>・ 食事の自立：自力にて摂取 箸・湯呑みの洗浄介助</li> <li>・ 安静制限のためベッド上座位</li> </ul>	充足	Aさんは入院当初は食欲不振であったが、3日目より普通食を全量摂取している。そして、ベッド上座位にて自力で食事摂取ができ、必要な栄養がとれていることから適切な飲食については充足状態にあると言える。  しかし、仕事の忙しい時期に突然の疾病を発症し仕事ができなくなり、今後の社会復帰に向けて不安を訴えていることから、再度食欲低下を招く可能性があると考えられる。  また現在、胸腔ドレーン挿入中であり、挿入に伴う痛みの出現によっては食欲にも影響することが予測されるため、挿入部の疼痛出現時には伝えるように声かけし、確認していく必要がある。  食欲の低下は低栄養を招く。低栄養状態になると低蛋白血症を起こしやすくなり	# チェストチューブ挿入や社会復帰への不安に伴う食欲低下の恐れ

				<p>創部の回復過程の遅延や感染などを引き起こす可能性がある。A氏は胸腔ドレーン挿入中であるため、食事摂取状態を確認し、低栄養にならないよう注意していく必要がある。</p> <p>A氏の肥満度は、「やせ」である。特発性自然気胸はやせ型の若い男性に多く、しばしば再発を繰り返すことがある。A氏は今回初回の発症であるが再発の可能性もあることから、今後は栄養状態が低下しないように食事のバランスを保てるような生活を心がける必要がある。</p>	
<p>3. あらゆる排泄経路から排泄する</p> <p>1) 生理的で正常な排泄である</p> <p>2) 快感がある</p>	<p>・ストレス、不安：有 「いつごろ退院できるだろう」「会社に迷惑をかける」「職場復帰できるだろうか」</p> <p>・「管が抜けるような気がして自由に動けない」</p>	<p>・病院到着時、右第6肋間から胸腔ドレーン挿入</p> <p>・排泄の自立：トイレ歩行可</p> <p>・便秘：0回／3日 (入院前は1回／日)</p> <p>・排便の傾向：普通も入院後なし</p> <p>・腹部状態：不快なし</p> <p>・排尿：4～5回／1日</p> <p>・ベッド上で臥床していること</p>	未充足	<p>入院後より排便がないことから未充足である。</p> <p>A氏は入院前、排便は毎日1回あった。しかし、突然の入院で、胸腔ドレーン挿入中により安静を強いられ、ベッド上臥床していることから腸管蠕動運動が低下していることが考えられる。また、入院という環境の変化、自然気胸による胸部痛、胸腔ドレーン挿入に伴う心配、食欲不振などが原因となり交感神経が緊張し、腸管蠕動</p>	

		が多い		<p>運動の低下を助長させ便秘傾向になっていると予測される。今後は便秘の原因となっているこれらの要因を改善させる必要がある。さらに、腹満感の有無、排ガスの有無、腸蠕動音の確認をし、必要時には腸蠕動運動の回復への援助が重要となる。</p> <p>A氏は胸腔ドレーン挿入中であるが、排泄時は携帯吸引器を用い、移動式スタンドに吸引バッグを固定してトイレに行っても良い。しかし管が抜けるような気がして自由に動けないという発言からも移動によるドレーン抜去への不安があり、尿器で排尿していると思われる。また、A氏は20歳の健康で活発に活動をしていた生活から安静を強いられた生活となり、排泄物の処理を他人に委ねることによる羞恥心や気兼ね、自尊心の低下を招くことのないよう配慮していく必要がある。今後は、病状の回復に向けて、A氏の自立への援助としてトイレでの排泄がスムーズにできるような援助をしていく必要がある。</p>	
4. 身体的位置を動かし、	・姿勢、体位の苦痛：有	・日常生活の行動様式：入院前	未充足	Aさんは20歳で特に運動障害はなく、通常（入院前）は姿勢保持や移動動作は充	# 胸腔ドレナー

<p>またよい姿勢を保持する</p> <p>1) 歩行、立つ、座る、眠るなどの姿勢が適切である</p> <p>2) 良い姿勢のとり方を理解している</p>	<p>「管が抜けるような気がして自由に動けない」</p>	<p>早出・遅出があり、生活リズム不規則</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安静度：入院当初 ベッド上安静 3日目より病棟内歩行可</li> <li>・外出：不可</li> <li>・外泊：不可</li> <li>・移動方法：トイレは歩行 検査は車イス</li> <li>・特発性自然気胸</li> <li>・安静療法と胸腔ドレナージ中 入院当初 35%虚脱 3日目 15%虚脱に改善</li> </ul>		<p>足状態である。</p> <p>しかし、気胸で治療のため安静療法と胸腔ドレナージ中にあり、安静度は入院当初ベッド上安静でトイレ歩行のみで、3日目より安静度は病棟内歩行までとなっている。</p> <p>また、動くことに対して「管が抜けてしまいそう」という不安がみられているため、ベッドで臥床していることが多い。</p> <p>このことから、入院前のように自由な活動ができておらず、活動・食事・清潔などの日常生活行動については未充足状態である。今後、日常生活行動の充足のため、胸腔ドレナージ中における生活支援を行っていく必要がある。</p>	<p>ジに関連した日常生活活動の制限</p>
<p>5. 睡眠し休息をとる</p> <p>1) 休息や睡眠が自然にとれる</p> <p>2) ストレスや緊張感からの開放がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠：不眠</li> <li>・睡眠感：浅眠</li> <li>・安静時痛なし</li> <li>・呼吸困難なし</li> </ul> <p>「気泡音があつて熟眠できない」</p> <p>「いつごろ退院できるだろうか」「会社に迷惑</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院前は早出、遅出で生活リズム不規則</li> <li>・入院初日 吸引圧 - 5 cmH2O</li> <li>・3日目 吸引圧 - 3 cmH2O</li> <li>・睡眠薬使用 無</li> <li>・ベッド上で臥床していることが多い</li> <li>・面会なし</li> </ul>	未充足	<p>Aさんは入院前から生活リズムが不規則であった。入院後は、胸腔ドレナージが開始されており、その気泡音から熟睡感がなく浅眠である。</p> <p>日中もベッド上で臥床していることが多く、面会もない。また、退院や社会復帰に対しての不安言動も聞かれており、このような日中の活動が少ないことや退院や</p>	<p># 胸腔ドレナージによる気泡音や活動制限、退院後の不安などに関連した睡眠の障害</p>

	をかける」「職場復帰できるだろうか」			<p>社会復帰の不安も浅眠の原因であると考えられる。</p> <p>これらのことから、熟睡感がなく浅眠であると考えられ、睡眠に対して未充足状態である。</p> <p>睡眠が未充足であれば体力の消耗や闘病意欲、食欲、活動意欲などの低下につながることを考えられる。</p> <p>このことから、睡眠の環境を整え、不安の軽減につとめられるよう援助していく必要がある。</p>	
<p>8. 身体を清潔に保ち、身だしなみを整え、皮膚を保護する</p> <p>1) 皮膚や粘膜が清潔になっている</p> <p>2) 清潔の基準が保たれている</p>	<p>・清潔に対する価値観: ・ストレス、不安、抑うつ: 有</p> <p>「仕事で汗をかくことが多かった。急な入院だったので早くお風呂に入りたい」</p> <p>「下着の交換はしない」</p>	<p>・皮膚粘膜の保湿・発汗 <input type="checkbox"/>無</p> <p>・創: 有 ドレーン挿入部</p> <p>・入浴: 2回/週</p> <p>入浴禁止のため全身清拭</p> <p>・洗髪: 2回/週</p> <p>・洗面 自立</p> <p>・整容(髭剃・整髪・化粧) 自立</p>	未充足	<p>Aさんの清潔のニードの充足状態は、20歳の男性、知的能力はふつうで身体的能力は障害もなく、仕事で汗をかくことが多くお風呂に入りたいということから、自力で全身の皮膚・粘膜の清潔を保持し、身だしなみが整っていることである。</p> <p>しかし病理的状态をみると、胸腔ドレーンを挿入しており創があり感染しやすいこと、治療上の活動制限があり、自力で清潔行動がとれない状態である。</p> <p>したがって充足状態は他者の援助を受けて清潔が保持され、身だしなみが整って</p>	<p># 治療上の活動制限に関連した皮膚・粘膜の清潔の不足</p> <p># 胸腔ドレーン挿入に関連した皮膚・粘膜の感染の危険性</p>

<p>3) 他人に受け入れられやすいみだしなみである</p>			<p>いることだけではなく、皮膚や粘膜の感染を受けない程度の清潔の基準が保たれていることである。</p> <p>実際の皮膚・粘膜の状態は入浴禁止で「汗をかくことが多かった。急な入院だったので早くお風呂に入りたい」という訴えもあり清潔が不足し、清拭時下着の交換はしないことから創からの感染の危険性もあるので未充足状態である。</p> <p>安静度による活動制限は、安静と胸腔ドレナージにより胸腔内に貯留した空気や血液、浸出液を排出し、肺の再膨張を促し肺虚脱の改善を図るためである。</p> <p>以上のことから A さんの清潔の未充足の原因は、肺虚脱改善のための活動制限による体力の不足である。また、感染の危険については胸腔ドレナージによる創があることによる皮膚・粘膜の易感染状態という体力の不足と、清拭時に下着の交換をしないことによる知識の不足である。</p>	<p>S: 早くお風呂に入りたい</p>
--------------------------------	--	--	--	----------------------

				<p>肺虚脱が改善され安静度が解除になるまでは、Aさんの胸腔ドレナージに注意しながら、できるだけ入院前の清潔習慣に近い状態で、清潔の基準を低下しないよう援助する。感染の危険についてはドレナージ部位に注意して清潔の援助をする。また、下着の交換については必要性を説明し適宜促していく。</p>	
--	--	--	--	--	--